

一〇一五年四月四日

ぼんやりと沖の島影春灯  
ま青なる海見えてをる花並木  
外つ国へ去ぬ子らと見る桜かな  
木の芽雨地層あらはに切通し

一〇一五年四月三日

賑やかなナース詰所の春の昼  
走り根を枕としたる落椿

一〇一五年四月二日

亡き母と眺めし窓に桜咲く

ピン逃げの玄関チャイム万愚節  
ケーブルカー終点花の雲の中  
花吹雪天誅組の辞世碑に

一〇一五年三月三一日

枝垂れては疏水になびく桜かな  
花冷えや孔雀は羽をひらかざる  
もりあがるシングル会や花筵

一〇一五年三月二九日

わかば  
啓蟄や新車となりし押し車  
八方へ風の意にそふ雪柳  
たこ壺の山積みされし春の浜  
あひる  
むべ

毎日句会みのる選・一〇一五年四月六日

もとこ  
澄子  
わかば  
よし女  
なつき

董雨  
むべ  
よし女  
わかば  
よし女  
あひる  
むべ

董雨  
むべ  
よし女  
わかば  
よし女  
あひる  
むべ